

(合同) 第2回総務部会・第5回学校運営部会 議事録

(1) 日 時：令和6年11月26日(火) 午後7時より、(第5研修室)

(2) 参加者：委員16名(2名欠席)、事務局7名

(3) 内 容

1. 部会長あいさつ

2. 報告事項

(1) 勝山市中高一貫教育推進協議会の設置【資料1-1、1-2、1-3】

3. 協議事項

(1) 校章デザインのプレゼンについて(総務部会案件)

(2) 勝山中学校説明会資料について(学校運営部会案件)【資料2-1】

4. その他

《報告事項》

(勝山市中高一貫教育推進協議会の設置)

部会長 ・ 本日も忌憚のないご意見いただきたいと思う。よろしく願います。レジュメに従って進める。事務局より説明をお願いします。

事務局 ・ 本日の部会の進行について説明する。本日は勝山市中高一貫教育推進協議会の立ち上げについて報告をする。その後、12月5日に予定している令和7年度中学校入学生交流会および勝山中学校説明会で取り上げる内容についてご検討いただきたい。当日は児童の交流会、校章案のプレゼン、勝山中学校の説明の3つを行う。このうち、総務部会案件として、前半は校章についてご検討いただき、後半は説明会での説明内容についてご意見をいただきたいと思う。それぞれ部外別の案件もあるが今回は合同部会として部会によらず、参加者全員でご協議いただきたい。よろしく願います。

部会長 ・ 事務局説明に対して質問等はあるか。ないようなので引き続き、次第に従って協議を進める。事務局より報告事項をお願いします。

事務局 ・ 勝山市中高一貫教育推進協議会の設置について説明と報告
【資料1-1】勝山市中高一貫教育推進協議会組織図(案)
【資料1-2】勝山市中高一貫教育推進協議会会則(案)
【資料1-3】勝山市中高一貫教育推進協議会委員名簿(案)

部会長 ・ ただいまの報告について、ご意見、ご質問等あるか。

委員1 ・ 中高一貫教育組織と現在の中学校再編準備委員会との関連性というか、今の話ではそのように進めるということだが、進め方としてどうなのか。推進協議会で出てきたテーマ、話題を中学再編準備委員会に落として、こちらで話を煮詰めていくというか、その辺が少し非同期になる。同期してもその辺の関係が出る。どうやって進めていくのか。

事務局 ・ まず再編準備委員会は、学校が開校したら解散し、準備委員会としては終了になる。ただ、この中高一貫の組織については開校以降も続くものになる。この組織では、学校の教育内容や学校生活等をどのようにしていくかを決めていく。例えば、再編準備委員会というのは保護者の代表の方がいらっしゃる教員だけの会はない。基本的に教育内容に関するところはこの組織の中で

決めていくという形を取りたいと思う。

ただ、再編準備委員会もあるので、ここで考えている内容はその都度、時期を見て準備委員会に報告をさせていただき、またご意見をいただいたり、ご要望いただいたりして、それを踏まえてここで始めていく。そういう流れで進めさせていただきたいと思う。

- 部会長 ・保護者の意見を聞くような部分はないのか。
- 事務局 ・再編準備委員会に報告してもらおう形でやり取りをする。
- 部会長 ・他にないか。
- 委員2 ・他の3地域の中高連携でもこういう組織は存在しているのか。
- 事務局 ・ある。そこを参考にできるところはある。
- 部会長 ・資料1-2の2枚目の第7条の表の下で3で「部会長は委員会に報告する」とあるが、この委員会は何を差しているか。
- 事務局 ・資料1-1の図の部会の一つ上の「中高連携推進委員会」になる。
- 部会長 ・準備委員会も教育委員会もあって委員会が複数ある。少しわかりにくい。
- 事務局 ・第6条で中高連携推進委員会を委員会と定義している。
- 部会長 ・附則で11月29日からとしているのはどういうことか。
- 事務局 ・まだ案になるが、29日の1回目の会があり、そこで決まるという見込みでそのようにしている。

《協議事項》

(校章デザインのプレゼンについて)

- 部会長 ・他にあるか。ないようなので報告事項は以上とする。続いて校章デザインのプレゼンに入る。
- 事務局 ・それでは、校章の選定について、ご協議いただきたいと思います。第1回の総務部会で校章の選定については、事務局が選定したデザイナーから提案された複数案のデザインを子ども達の意見を聞きながら総務部会あるいは再編準備委員会において協議し、その結果をもとに市の教育委員会で決定をするという形で、ご了解をいただいた。今後のスケジュールはレジュメにまとめている。12月5日に市内の6年生および保護者の皆様にお集まりいただき説明会を行うが、その際に直接デザイナーからデザインの考え方や候補案をご提示いただく。その後、12月9日から20日頃に、複数案から子ども達に投票していただき、その意見をもとに1月下旬から2月上旬頃に、総務部会および再編準備委員会で協議いただきたいと思います。できれば2月の下旬に市の教育委員会で、再編準備委員会でご決定いただいた内容を基に正式に決定したい。デザイナーについては、市内の小中高で様々な活動実績のある橋島氏にご依頼するというご了解いただいている。本日はこの橋島氏よりプレゼンをしていただき、12月5日当日もこのような形でよろしいかということで、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。この形で進めたいと思うので、よろしくお願いする。
- 部会長 ・それでは、橋島氏よりご説明、お言葉をいろいろ伺いたいと思う。よろしく

お願いします。

(橋島氏によるデザインのプレゼン)

- 部会長 ・今のプレゼンについて、ご質問等はあるか。
- 委員1 ・すごい斬新というか、喜ぶ人もたくさんいると思う。ただ、例えば4つ目は、やはり恥ずかしいとか、付けたくないとか思ってしまう子もいるかもしれない。もちろん、チャレンジ精神のある学校と捉える子もいると思うし、とんでもない学校と捉える子もいると思う。どんな子たちが狙いなのか教えてほしい。
- 橋島氏 ・今回の案について、校章のデザインとしてはどれも見慣れないようなイメージと思っている。例えば、3つ目まで見た時点で突飛だと感じていた中で、4つ目を見ることで3つ目までが落ち着いて見えて安心できるのではという部分もある。見た目とかで付けるのが恥ずかしいというようなことはもちろんあると思う。今回、投票という形でそうした意見が得られると考えている。
- 委員2 ・デザインとしてチャレンジを表しているのか。正直言うと、2つ目の立体的なデザインは、初めて見たので、こういうデザインも校章になり得るんだと驚きだった。個人的にはシンプルに3つ目の「勝」が安心できると思うが、ただ、場合によっては、4つ目の「カツ！」は普段使いではなく、部活で使うと面白いとも思う。使い分けみたいなことも可能なのか。1つに絞るべきなのか。
- 橋島氏 ・使い分けも可能だと思う。4つ目については、自分でもチャレンジだと思っている。選択肢の中でそうした幅があることで他が落ち着いて見えたり、違いが分かりやすくなったりすると思う。
- 部会長 ・一番最後のまとめに出ている黒色のデザインがご提案ということか。
- 橋島氏 ・今回、校章の考え方をまず決めてということだったので、まずは考え方とで選べばいいと思う。
- 部会長 ・デザインを選んだら、色は後からつくかもしれないということか。
- 橋島氏 ・仮でこういう色もあると提示しているが、そういうところもデザイナーの一人で決めるのではなく、皆の声を取り入れられるといいと思う。
- 部会長 ・色ありきではなく、あくまでデザインとしてということか。
- 橋島氏 ・そのように考えている。
- 部会長 ・他にあるか。ないようなので橋島氏はここまでになる。御丁寧なプレゼンありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。
- 橋島氏 ・ありがとうございました。
- 清川部会長 それでは協議に入りたいと思う。今のご提案に対してご意見はあるか。
- 事務局 ・協議の前に1点、今ほど委員からご質問があった点について、事前にこのアイデアをいただいたときに事務局でも話している。今回、ZOOMの音声が悪く、うまく回答が聞こえなかったと思うが、橋島氏から4提案あり、校章として選ぶ中で例えば部活の応援旗で使うのも面白いという話はいただいていた。別の使い方は、デザインをいくついただけるかという話をする必要があるが、

	そのように使っても構わないという話は事前にいただいている。その点を付け加えさせていただいた。
部会長	・今の説明について、ご質問はあるか
委員 3	・部活動で使うときに生徒の自由で、例えば部ごとに色のデザインを変えたりできると捉えていいか。
事務局	・まずデザインを決めるという話であったため色については、そこまで詳しい話は、まだしていない。ただ、目指す生徒像の中にあつたように生徒の自主性もあるので、やはりそういうところも生徒が決めてほしいという思いはあつた。本日いただいたご意見を踏まえて、そういうこともできるように話をする。
部会長	・他にあるか。
委員 4	・今回は6年生向けにプレゼンを行うということだが、その後、小学4年生から中学3年生も投票するはず。そこに対してのプレゼンも行われるのか。別途、説明会をした上で投票を行うのか。
事務局	・当日の様子は録画して、後から動画で確認できるようにする。
委員 5	・周知の仕方について、動画をご覧いただくというのは方法としては正しいと思うが、パソコンやスマートフォンを持っていないご家庭もゼロではないと思うので、パソコンやスマートフォンがなくても周知できるようにしてほしい。また、選ぶときに単品で話をする最終的な全体のまとまりがなくなると個人的に思うので例えば、制服であつたり体操服であつたり、現時点で決まっているものと一緒に考えてもらった方が子ども達もデザインをイメージしやすいと思う。その辺をうまくやってほしい。
部会長	・他にあるか。
委員 6	・デザインについては面白いと思った。ただ、既存のデザインの継承みたいな案も1つくらいあってもよかったかと思う。そういう話も可能性としてあると思った。そのあたりも少し橋島氏と話していただき、どのように校章の歴史を継承していくかみたいな話があってもいいと思う。多分、市民の皆様からも質問等が来ると思うので、そのあたりの回答も用意していただけるいいと思う。
部会長	・他にあるか。
委員 7	・そもそも校章が一体どこにつくのか考えていた。現在の学校だと校旗になる。昔は帽子だったので帽子には校章がついていたが、今は帽子がないので、現在、学校では校章を身に付けることがない。朝礼等の時に一文字幕というものがステージにあるが、新中学校には体育館はないので一文字幕があるかはわからない。身分証明書にもついているが、新中学校でも身分証明書を作るのかわからない。賞状には校章が印字されている。一般的に体操服にも校章がついているが、体操服のマークはもう決まったので校章は使わないと思われる。そうすると、この校章は一体どこにつくのか疑問というか、あまり思い浮かばない。それに相応しいものもないといけないうのか。校旗はもう必要

	ないという意見も聞いたことがある。連合体育大会がない以上、校旗は不要という意見も聞いている。卒業式の校旗は飾られるので必要になる。デザインをどこで使うのかも含めて考えたいと思っていた。以上、個人的な意見になる。
事務局	校章はどこにつけなければいけないという決まりは何もないので、それは考えていけばいいと思っている。ただ、例えば何につけるといえるものがあれば、全体でデザインのイメージを考えるという趣旨だとすると、そういう意味ではデザインマークしかないのは申し訳ないと思う。
部会長	校章は新校舎の玄関にも付けるのか、そのような記述があった気がする。
事務局	最初に事務局の方で橋島氏よりご提案いただいた際にはなかったが、実際に使うときは、校章単独でそのマークだけというよりも、その校章があつて勝山市立勝山中学校というような使い方になるだろうということで、この資料の中に校章があつて勝山市立勝山中学校という、漢字が入ったものとローマ字で書いたようなものを組み合わせた形で、おそらく学校の前につくとか、あるいは学校によっては校舎の壁面についている学校もあるので、それができるかはわからないが、実際に使う際には学校の名前と合わせて使っていくことが多いと思う。
部会長	他にあるか
委員 8	エンブレムは決まったと思うが、個人的にはエンブレムと校章には、どこかに関連性があるといいと思う。また、その辺がつながる説明もあると納得できると思う。
委員 9	先ほど既存のデザインを継承した校章について意見したが、2つ目の案がそのような内容だった。
事務局	- こちらに現在の三中学校の校章の写真がある。ご覧いただければと思う。 - 全国の学校の校章を調べると、いろいろなものが出てきて、先ほどの説明のようなデザインだけの校章もあるし、名称が入ってる校章もある。
部会長	12月5日のプレゼンは誰がするのか。
事務局	橋島氏ご本人が来られて話をされる。
部会長	ご意見が他になれば校章については、プレゼンでご提案のあった4つを12月5日にご本人がプレゼンされてということで、その後はレジュメのスケジュールに沿ってやっていくということでよろしいか。ちなみに投票はどうやってするのか。
事務局	これまでも各小中学校でお願いしてきたが、基本的にやり方は各学校にお任せしており、紙で投票するのか、挙手にするのか、やりやすい形でお願いしている。
	(勝山中学校説明会資料について)
部会長	質問がなければ、協議事項については2番に移りたいと思う。
事務局	1番の方は、このようにプレゼンをお願いして投票をするという形で進めさせていただく。

	2 番は 12 月 5 日のことについて説明させていただき、ご意見をいただいた後に、修正をして、保護者、子ども達の前で話をしたい。実際のプレゼンの画面も見ていただきながら紙もあるので、プレゼンのシートを見ながらご説明させていただく。 ・勝山中学校説明会実施要項について説明 【資料 2-1】令和 7 年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会実施要項 ・勝山中学校説明会について説明 【資料 2-2】勝山中学校説明会資料
部会長	・今の説明に対してご質問、ご意見があったらお願いしたい。
委員 1	・44、45、46 のびっくりマークの絵を教えてほしい。唯一そこにエクスクラメーションマークがあって、何か意図的なものを感じる。意図があるならそこから使えた方がいいと思った。
事務局	・資料を作っている時は、そういう思いだったということでここだけ特段他よりもすごいぞという思いではない。こういったところは伝えたいという作者の思いだけだ。
委員 2	・やるなら統一した方がいいと思ったので、なくてもいいと思った。
事務局	・了解した。
委員 3	・旧中学校では売店があったのではないかと思うが、売店というか購買があると、普段から買えて便利かなと思った。これまでで図に載っていた記憶がないので、高校と兼務で買えるような形になるのか、どういうふうになるのか。
事務局	・現時点では購買の設置の予定はない。というのは実際に今中学校の先生方もおられるが、購買がないと大変不便であるとか購買が大繁盛という状況ではあまりない。
委員 4	・普通のところに買いに行っているのか。本屋などに買いに行っているという状況なのか。
事務局	・そうである。
委員 5	・それで回っているのならいい。記憶ではそうだったかなと思った。物品販売の話があったので、高校で残っていて一緒に買えるのならお願いするとどうか。
事務局	・勝高には購買があるのか。
委員 6	・ない。
部会長	・よろしいか。他にはどうか。
委員 7	・まずスライド 46、連携入試を検討中で勝山高校第一志望者についてはとある。これは誤解を与えないか。志望したら必ず入れると。もう一つは給食室ができると調理員はどうなるのか。
事務局	・ここは事務局も見直しているところで、今言われたことは確かにあると思うので表現は考える。それから当然、給食を作る調理員は必要。今は検討段階で、外部に委託するとかも含めて考えている。人は確保するということが絶対になる。
委員 8	・外部委託する可能性が高いというか可能性があるということか。市で小学校

	みたいに調理員を雇ってするという事ではないのか。
事務局	・あくまでも検討段階である。そういう意味でいうと小学校の今作っていたいている方もだいぶ高齢なので、そのタイミングを見て同じようにしていく可能性はあるかもしれないということである。
部会長	・よろしいか。
委員 9	・三点ある。一つはスライド 46 のやはり学力入試でない方向ということは今言い切らない方がいい、危険だと感じている。同様の理由で、スライド 29 の希望をもとに新たな活動を持つということを言いきってしまうのは極めて危険だと思う。三つ目はここに書かれている内容は現場の教員は何一つ知らないで、12 月 5 日を前に現場の先生方に知らせる機会がないと危険だと思う。
部会長	・2 点目、3 点目についてはいかがか。
事務局	・以前から先生方に対して説明会前に説明をしてほしいという要望をいただいている。それはやぶさかでないが時間的に大丈夫なのか。こちらはいいが先生方が大丈夫かというのが一つ。この時間帯で例えば来てほしいということであれば対応できるかという気はするが、まずはこのデータそのものを学校へ送るのでそれでご覧いただく。そして説明が必要であればという形がいいのかと思う。
部会長	・今言われている先生方というのは小中の先生か。
委員 10	・基本的には小中。ただ小学校の先生に自分事としてどこまであるのか分からない。
事務局	・例えば、データを回してぜひ説明に来てくれというところを順番に回っていくということが物理的に可能かなというようなことを思う。あるいは先生方に来週全員集まってくださいみたいなことが、なかなか難しいだろうと思う。そういった意味ではとりあえずデータを回してぜひ説明してほしいというところに対応するのがいいのかなと思う。
部会長	・よろしいか。
委員 11	・まずこれをいただけるということか。
事務局	・はい。
委員 12	・部活を新たに新設できるということを言い切ってしまうのは危険だと思う。
事務局	・部活を新たに作るという意味ではない。部活という言葉は新しい中学校では使わないでおこうと思っていて、放課後活動という形で一部は地域でやってもらうということも含めての話なので、それがしっかり伝わるように説明することは必要だと思っている。
部会長	・よろしいか。
委員 13	・それなら放課後活動（部活動）の方がいい。
事務局	・基本的に今後の中学校は、従来我々が描いている部活動のほかにもう少し軽いこともできないかという意味合いで放課後活動という呼び方をしたいと考えている。今ほどのご指摘通り、放課後活動（部活動）という表記でいき

	いと思う。
部会長	・それを説明の時にもまたしたい。他にないか。
委員 14	・温かい自校給食で使用するお米は勝山産とある。なぜ勝山産にこだわるのか。外部委託するなら民間事業になる。利益を求めるので勝山産でないかもしれない。
事務局	・学校給食で今現在も勝山産のお米を使っている。それはやはり地元の農業を子ども達に地元の農産物を食べてもらって地元を知っていただくとか地元の食材を使うということを食育の面でもしていきたいということで、勝山産を使っている。今現在、実は 11 月からは直接決まった農家からお米を買ってそれを食べている。小中学生は今の時点だと荒土のお米、どこの生産者までわかるお米を食べている。それはやはり子どもに地元の農業に興味を持ってもらいたいとか、そういった思いもあって、今政策としてやっている面もある。農家にとっても、そうやって地元の学校で作っているお米を食べてもらっているということを自分のお米のブランドとして使っていって、高くお米を売ってほしいという思いもある。その意味で勝山産を使っている。
委員 15	・いい取り組みだ。
事務局	・調理員の委託について小学校の委託についてもなかなか見つからないという現状もあり、委託できるかどうかずっと検討していることが続いている。それも含めて今、小学校、中学校でどうやってやっていくかということは検討中で委託にするか直営にするかはまだ決まったことはない。
部会長	・福井市も委託だ。
事務局	・ちなみに大野市も小学校は委託、中学校は直営。給食センターをしている市だと委託が多くなっている。
部会長	・他にご質問はあるか。
委員 16	・資料の 48 と 49。市全体が中学生の学びを応援という割には、このネタが小学生を対象にした応援ネタになっているので、それを中学生に当て込むのがどうか。小学生を応援している新聞記事ばかり載っていて、中学生を応援するというのはどうかと思う。
事務局	・中学生の姿を出した方がいいということか。
委員 17	・ネタ的には中学生を題材にする。
部会長	・支援しているが、小学校ではないかということ。
事務局	・実は今日も同様のことがいろいろな小学校で行われていて、ぜひ中学校にも地域の方が参入されていろいろな活動を子ども達の教育に支援していただくということは取り入れたいと考えている。そういった意味で、中学校の生徒の活動の方が現実味があっていいということであれば差し替えたいと思う。
委員 18	・14 歳の挑戦などを入れるといい。
委員 19	・25 ページの通学方法のところだが、学校から 1.5km 以遠の子どもは自転車またはバス。ただし遠方は安全のためバス通学とある。遠方のところを具体

的に示していただけるとありがたい。24 ページと 26 ページのところだが、放課後活動なしの場合、下校が 16 時 10 分で夕方のバスの 16 時 40 分頃だと 30 分の開きがある。放課後活動ありの場合、17 時 40 分頃ではなく 18 時 30 分頃ということでだいぶここが開きがある。ここはもう少し早くならないのか。

- 事務局
- ・自転車の遠方というのは実は何キロまでいいのかということを詰め切っていない。ただ一般的に、ネットなどで中学生の自転車通学はどのくらいまでが中学生の体力的に安全なのだろうかということは結構出ている。それを見ると、5 キロとか 6 キロとかという表記が見えてくる。繰り返しになるが、詰めていないので、勝手に何キロだと言って、後で不確かなことを申し上げるとよくないと思う。もし質問があればそのあたりのことを考えているというようなことで回答させていただこうかと思っている。
 - ・以前から P T A 部会でも協議をずっとしているが、一応こちらとしては 1.5 キロ以遠の人を対象にバスを用意する。でも全員乗るかということ、それもまたわからない。どれくらいの大きさのバスを用意するかということも今検討している最中である。ですから自分は自転車だと言って、バスに乗らないという子も中には出るかもしれない。でも冬だけ乗るとか、雨の時乗るという子も出てくる。したがって非常に不確定な要素が多い。でもどこかの時点では決めないといけないし、決めたはいいけど誰も乗っていないとなると、またこれもおかしくなる。だからできるだけ生徒の皆さんの自主性は大事にしますが、どこかの時点では決めたいと思っている。ですから 6 キロ以遠は自転車禁止というのはまた、どこかの時点では決めないといけないと思っている。基本的にはバスは 30 分以内と考えているので、自転車でも 30 分ぐらいで着くぐらいではないと、子ども達には厳しいのではないかと思ったりもする。
 - ・今言われたのは、学校が終わるのは 16 時 10 分、バスの出発が 16 時 40 分ということで 30 分ぐらい開きがあるという話で、2 便目の方は 50 分近く開きがあるという質問だったかと思う。まず、最初の放課後活動なしについてはあくまでも 16 時 10 分頃に終わるので、それから少し片付けなり、いろいろなことをして、30 分後ぐらいを出発としているが、また時間的にも少し詰めていかなければならないと思う。運行させるバスの出発の時間も業者と決めていかなければならないので、その辺りは今後の課題かなと思っている。2 便目の 17 時 40 分と 18 時 30 分、こちらの方は高校生の部活動の終わった子どもとの兼ね合いで少し長めになっているが、今意見をいただいたように、中学生の終わりや高校生の終わりがどうなるのかと今後調べて、調整しているかと思っているので、ご意見をいただければと思っている。

- 委員 20
- ・もう一ついいか。当日説明会に配られる資料はこの資料になるのか。
- 事務局
- ・このデータについては可能かどうかかわからないが、便りを直接学校からホームアンドスクールで直接データを送らせていただいている。これを紙で印刷

	しているとかなり膨大な量になってしまうので、何らかの形で見ていただけるようにはしたいと思うが、紙を配布するということは考えていない。直接お渡しするものとしては QA でここから質問してくださいというようなものとか、もう一つは雑貨組合からすでに保護者の皆さんには服のことは案内しているが、履物のことはまだなのでその紙を付け足さなくてはと思っている。あまり紙の配布物は増やしたくないと思っている。
部会長	・バスのことだが、下校というイメージが 17 時 40 分にはもう学校出ないといけないみたいに思う。バスは 50 分前と言っているし、寒い冬はどこに行ったらいいのかと思うのではないかと意味も込めて言われていたのかなと思った。事務局的に時間をどうするという話よりも学校を出されてしまって 50 分間どこにいるのか、震えているのかというような感じか。そのあたりを含めて言葉遣いとか配慮いただいた方がいい。
事務局	・バスの時間をものすごく確定的に書いてあるので少しぼやっと書いた方がいい。まだ検討の余地があるので何時ごろみたいにしておいた方がいいと思う。
部会長	・活動終了時間が 17 時 40 分ぐらいでバスの時間まではどこかで待てますよとか、安心できるように。
事務局	・今ほどのご指摘のとおり、バスの時間と下校の間に出ていきなさいというわけではないので、こういったところで待ってられる。先ほどの大階段とか、図書室とかを入れたほうがいい。
部会長	・他にはないか。
委員 21	・通学方法で付け足しの意見だが、学校から 1.5 キロ未満は徒歩ということだが、先ほど雨とか 1.5 キロ未満でもバスは乗れると思ってもいいのか。この間のスクールバスの路線図を見てその点はこの見方をすると、1.5 キロ未満はバス使えませんかみたいな感じになるのでどうなのか。
事務局	・現時点では徒歩で来ていただきたい。中学生全員の 460 人分乗れるバスを用意しなければいけなくなる。やはり小学生が歩いていることも考えると、1.5 キロまでぐらいは少し歩いてくださいと事務局としては考えている。時速 4 キロで歩くとしても 30 分かからない。小学生はもっとたくさん歩いている。ですから、そこは空いていたら乗ってもいいだろうとそこまではなかなか難しいという気はする。実は今中学校で許可している自転車が 1.5 キロ以上となっているので、そこまでは歩きということから引っ張ってきた数字である。
委員 22	・路線図を見たときにそう思ったので。
事務局	・PTA 部会でもいろいろご意見をいただいて、PTA 部会の中でも全員乗せてほしいという意見もあれば、逆に予算の面もあって、確かに全員乗せると大きなバスを買ったり、バスを 2 台 3 台出さなければならない。それに対する運転手さんがいるのかどうか。昨今、運転手問題が非常に輸送業界問題になっているのでそこら辺りも加味するとやはりそういう約束。学校内での約束と

して、そういうところは皆さんとお願いしながらやっていってやはり生徒が予想以上に乗らないとかいう場合には学校と開校した後相談ということになるのではないかと思います。最初はこういうルールでやらせていただいとこととお願いしたい。

部会長 ・ よろしいか。他にいかがか。多分ここに出る質問とか意見は当日いろんな保護者の方がいらして思うことだと思う。

委員 23 ・ 2点ある。1点目は20ページの生活ルールに関して各中学校の生活ルールを1年次はそれぞれの中学校で守ってくださいと書かれていると思うが、どういったところが違ってきているのか。新旧でその確認をさせてほしい。多分50分授業とかそういうところもなるかと思うが教えていただければと思う。

事務局 ・ 先ほど申し上げた推進協議会の下部組織として生徒指導部会みたいなものを作るという説明をさせていただいた。これのプレ会議みたいなものを先般3人の中学校の校長先生と生徒指導の先生方にお集まりいただいて、まずは勝高とか新中学校という前に、今の三中学校のルールをどのようにすり合わせるかということ、協議させていただいた。そこで出てきている話というのは実は生徒会が決めた、例えば、昔丸坊主だった中学生が髪の毛を伸ばしていいのではないかと決めたものがそれぞれの中学校にあたりなかつたりする。何々はいけませんとかいうものがまだある。こういう髪型はダメですみたいなものがある。新しい中学校になったから、今までの話は先輩が決めたけどそれは無しにするとは行きづらいだろう。何か子ども達にもきちっとした理屈が必要だろうということで、そこはそこで見ていく。ただ、新中学校のときにどういうルールにするのか。今の事務局サイドとしては、大きな細かいことは何も決めていない。基本的に子ども達の主体性に任せるという大きな方針しか決めていない。そういった方針の下、具体的にどのような形で中学校が動いていくのかというのは、先ほどの協議会の中でこの程度はやっぱり必要ではないかとか、ここは生徒に考えさせようではないかとかという議論が進むものと考えている。今の中学校にこれとこれとこれのルールがあって、新中学校はゼロになるという感じではないと考えていきたい。

委員 24 ・ 1年2年の時に、新中学校のルールも自主性に任せて決めさせていくみたいな捉え方でいいのか。

事務局 ・ イメージとしてはそんな形でいければと思っているが、これも中学校の先生方と相談しながらということになるかと思うので、今一律にこうするという形のものは、あまり決め決めのものではない方がいいと思う。

委員 25 ・ 了解した。もう一点だが、市長と語る会で出た案件だったか、どの時点でお伺いしたか確かではない。普通のバス以外に乗り遅れた場合かどうかはわからないが、呼び出して連れて行ってもらえるという仕組みを検討しているという話が出ていたと思うが、ここには書かれていないので、どのようにする

のか教えてほしい。

事務局 ・今言われたのは、いわゆるデマンドバスになる。タクシーを想像していただくのが一番わかりやすいと思うが、今勝山市が考えているのは、大量輸送が必要な朝と夕方は皆さんが想像するバスの車両が運行して、多数の人を乗せてバス停が決まっているところに降りていくという風な定時定路線という時間と降りる場所が決まっている運行方法を取る。その中間でまだ時間は不確定だが、朝の9時から夕方の4時とか5時ぐらいまでのそのいわゆる大量の人が動かない時間は、小さい車両にして、「私勝山病院行きたいんです。」逆に違う人が「サンプラザに行きたいんです。」という予約が入ったら、その車両でそういう人たちを拾って行って、一番いいタイミングで降ろす乗せる。みんなで乗るタクシーみたいなオンデマンド交通と言うが、予約して乗ると言うそういう2つの方法に公共交通が変わる予定である。市長が言われたのは、朝は当然大量の人、子ども達が乗るので普通のバスで行く。例えば今日病院行かなければいけないので病院に行ってから学校に行きたいといった場合には、今までだと親が送迎していかなくてはいけなかったが、例えば9時半に病院が終わって今から学校に行こうというところがオンデマンドバスを予約して「今何々病院にいるので、迎えに来てもらえませんか。行きたいのは勝山中学校です。」ということで、そういう予約の仕方のバスが運行するので、それも活用できるという意味で言われたのだと思う。頭の中で朝夕の大量輸送の公共交通と中間時間のオンデマンドバス、予約して乗るバスと2つの方式になるということだけ覚えていただければと思っている。

委員 26 ・ここで一切触れられていないのでどうするのかという話、例えば調子が悪くなって高校からそこまで帰りたいとか、そのようなもので対応すると表記されるのであれば、表記したほうが安心するのは間違いないし、全てが対応できるとは限らないのであれば両立てで書かなくてはいけない。その辺りが一切触れていないのでほとんどの方は知らないのかな。このままでは心配される親御さんもいるのではないかと思いますのでお願いしたい。

事務局 ・公共交通部局などと話しをしたい。今言われたように体の調子が悪いとかという場合だと、やはり学校の方から保護者の方へ一報を入れての対応になるかと思うので、どういう場合があるのかというのも考えながらやり方を考えていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

委員 27 ・触れるか触れないか。

事務局 ・少し協議をさせてほしい。先ほど中学校の校長先生からあったようにあまり思わせぶりにやりますよと期待してもらったら実はできないとなってしまっても困るので、どのような表記の仕方がいいのか協議をしたい。

部会長 ・もうよろしいか。

委員 28 ・今聞かせてもらって結局このねらいは資料2-1のように聞いている生徒や親御さんが夢や希望を持って入学できるような出題にするというのがねらいなので、せっかくいろいろな方がいろいろ汗をかきながら資料を作って説

明したが、何のことかではだめだと思う。例えばこういったことは基本的に決めているとか、こういった感じであるというのは言い切れるのであれば言い切った形でいいし、これは検討中なら検討中というのがわかるようなスライドのほうが、あれはどうなんだ、これはどうなんだというのは混乱をまねくような気がする。これ今から決めるというならそれでいいと思うし、例えばスライド 20 の各中学校の約束に従ってほしいとか、そういったことは言い切れるところだったら言い切れればいい。検討中は検討中、これはもうこういった形でいくというところがあると、今のこの方向で頑張っていけばいいんだとか、これはまだまだ可能性あるんだとか、そういったところがわかりやすくなる。そうすると 12 月 5 日の 2 時間というのは非常に有意義なものかなと思う。

部会長 ・今日出たいろいろなご質問等を踏まえて、そういう疑問を解消するような説明にしてほしいと思う。他にはどうか。

委員 29 ・資料作りありがとうございました。2 つ検討いただきたいことだが、一つ目は図面が見にくいので座席はなくていい、色と壁と名前だけでもいいと思った。スライドで映っているときも非常に見にくかったので説明しているところは多分注視すると思うが、他にもどこに何があるかなと探すと思う。そのときにストレスなく見えるように設計事務所にもご協力いただきながら作るといいのかなと思った。もう一つは給食についてだが半分冗談で半分真面目な話でもう少しおいしそうな写真の方がいいのではないかな。汁物がドーンとあるので、もう少しメインディッシュが強調された方がおいしいと思う。もう少し明るくドアップで湯気が立っているような写真だと温かいと思える。先ほどの話と被るが今もそうやっているものが継続するというアピールをするのか、自校給食なのでもっと違う新しい給食になりますよとするのか。言い方で変わってくると思う。勝山産だというのは別に新しくなくて、小学生からだとして普通でしょうという見方になると思う。今のものが新しい中学校でも食べられるという説明のほうがいいと思った。

事務局 ・今の中学校の給食に対して、子ども達よりも保護者の方の不安感のような声がよく聞こえてくるので、基本的には小学校と同じ給食が食べられるという説明になろうかと思う。それが魅力的と子ども達が捉えてくれるのか、それは当たり前だと捉えるのか、不安なところではある。期待感を持っていただけのような言い方ができればと思う。

委員 30 ・小学校はセンター方式の給食か。

事務局 ・小学校は自校で作っているが、勝山の中学校はデリバリー方式になっていて別のところで作ってもらって弁当で配送される。中学生に聞くと小学校のように学校の中で作った給食を食べたいという希望が多い。中学校の自校給食は大きい変化になる。

・ご指摘の図面の問題はとても難しいので極力がんばっていかないものはできるだけ消して見やすい図面にしたい。

部会長	・検討させてほしい。教室もイメージがわけばいいのかと思う。
事務局	・こういう教室ができますということであれば、余計な線などは省いて考えたい。
部会長	・時間は来ているが、何点かお願いしたい。忌憚なく言わせていただくと人数少なく、忙しいところで作られていていろいろ苦勞されているのは分かった上で言わせていただくと夢も希望もないなと思う。だんだんこじんまりとした行政説明資料になっている。ここにいる大人とか先生たちが相手ならそれでいいが、この会場の主役は小学校6年生のはずなので、6年生が夢や希望を持てるのか。文字だけ並んでいるし、例えばスライド19でいうと、主語は完全に子どもではなくて大人になっている。一点目の「学習の進め方を揃えます。」子どもにしたら「どの学校でも同じように学べますよ。」とかそういう表現になるのではないか。スライド12には目指す学校像が書いてあって、新しい時代に生きる力を育むとあるのに、それは一応書きました、出しましたというだけで、次のスライドからそこはどこかにいつている。いろいろなところに新しい時代に生きる力を育める。ここで育むとか。もっと言うと、将来の勝山を担っていく皆さんが育つ学校というのが伝わるようなものがない。本当に行政説明で大人が説明責任を果たしたみたいなの、講義型の授業と同じで、あとは聞くものがちゃんと聞けみたいなそういう感じが非常にするので、小学校6年生が本当に夢と希望を持てるような資料作りにしてほしい。もっと絵も入れればいいと思うし、文字がずっと並べてあって非常に見ていてつらくなってくるというか、がっかりくるというか、気の重くなる資料だなとまず思う。例えばスライド44でいうと、ここで皆さんが思っている目指す進路というのは高校なのか、生き方なのか。スライドを見てみると高校に入ることしか考えていない。非常にこじんまりと次のステップにいかばいいとか頭の中に高校しかないような目指す学校像にある言葉はどこかにいつている。至る所に感じられて非常につまらないというか、この段階でこじんまりとしていてどうするのかなと思う。夢や希望をこれで持てるのかというのが感想。残り時間が少ないが、極力主語が子どもであるようにしていただけたらと思うし、目指す学校像、生徒像が至る所に感じられるような説明にしてほしいと思う。僕が担当だったらだが、例えば説明の魅力3、目指す進路を実現のときには、そこで説明するかどうかは別として、会場には高校の先生が来ていただいているとか、あるいは魅力4、町全体がというなら地域コーディネーターの方も来ていて今日はコーディネーターの方が来ていますよとか。例えば魅力5だったら、給食調理員さんの格好をした人が1人、給食調理員さんでなくてもいて、サポートしますとか、おいしい給食を作りますと一言言ってもらっただけでもいい。その段階でいろんなポジションの方がみんなを待ってますよ、いい学校にしますよということが伝わるようだという。来た人が説明したからなという講義型の授業みたいな感じで、非常につまらない。そういうことでよろしくをお願いしたい。

- | | |
|-----|---|
| 事務局 | ・短い時間だが頑張りたい。とてもいいご指摘をいただいたので、子ども達が楽しんでもらえるようにしたい。 |
| 部会長 | ・机が大きくなるようなことは、今の机と大きい机を比較してその写真を出しておくとか、大きくなるんだとか、そういうことが分かるようなものにしてもらえるといいのではないかと思う。時間がのびてしまって申し訳ない。事務局をお返しする。 |
| 事務局 | ・本日はお忙しい中、たくさんご意見いただき、本当にありがとうございました。今日のご意見や質問を参考に作っていきたいと思う。予定として12月4日にPTA部会、12月23日に再編準備委員会、1月下旬にもう一度総務部会をさせていただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。これで第2回総務部会と第5回学校運営部会合同部会を終了させていただきたい。本日どうもありがとうございました。 |